

令和3（2021）年度入学試験問題出題のねらい・解答例 （学校推薦型選抜）

中村学園大学〔流通科学部〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

本小論文の出題にあたっては、流通科学部における学びの中心となる経営学・商学・経済学分野を見据えて題材の選択を行った。出問は比較的平易な文章で書かれているが、社会的手抜きが起こる心理的メカニズムを理解し、集団で仕事をすることのメリットとデメリットについて文脈からしっかり読み取る力が求められている。内容を理解するためには一定の読解力が必要であり、本学部で学ぶ上で必要となる基礎的な能力を測定する上で適していると判断して採用した。

問一では、集団で仕事をすることのメリットおよびデメリットとその原因を文中に書かれている語句を用いて説明を求めた。文中に点在するいくつかのキーワードを的確に見つけ出し、規定の文字数内で簡潔にまとめる力を測定することをねらいとした。問二では、解答者自身が経験したことや見聞きした社会的手抜きの具体例とその原因についての考えを論理的に説明する力を測定することをねらいとした。単に自身の体験や感想を述べるだけでなく、本文で述べられている社会的手抜きの定義とそれが起こる原因を理解した上で、社会的手抜きが発生した原因を含め論理的かつ丁寧に説明することが求められる。

大学の学びにおいては、常に論理的に思考する能力が求められる。流通科学部を志望する受験生は、普段から社会での出来事に興味や関心を持ち、新聞や雑誌、書籍に目を通し、様々な人との対話を通して、自ら考え表現する力を身につけておくことを期待する。

〈模範解答例〉

問一 一

1人ではできないことでも集団になればできることや、他者の仕事に触発されて、自らの仕事のパフォーマンス（業績）が昂進することもあることがメリットとして考えられる。

問一 二

集団の中で責任感が希薄になり一生懸命さが失われることで、1人当たりのパフォーマンスが単独で作業するときにくらべて大きく低下することがデメリットとして考えられる。

問二

社会的手抜きの具体例として私が思い浮かべるのは「授業中の私語」です。自分自身もそうですが、多くの方は家庭教師のような一対一で勉強を教えてもらう場合や、一クラスが十人以下の少人数授業では、たとえ仲が良い友達が隣にいても私語をすることはほとんどないと思います。しかし、大人数授業の場合や、全校集会のようなときには私語が増えている気がします。これは、大人数の中では一人ひとりの重要度が低くなっていると思い込んでしまい、「自分ひとりくらいなら」「誰かが注意するだろう」という気持ちが生まれ、そういった気持ちをもった生徒が増えることで集団全体として私語でうるさくなってしまうのではないのでしょうか。大人数の中では、先生の監視の目が行き届いていないだろう、少しくらいおしゃべりしても気づかれないだろうと思ってしまい、緊張感がゆるみ、責任感や一生懸命さが失われがちであることが「授業中の私語」の原因であると考えます。